

はじめてのうみ

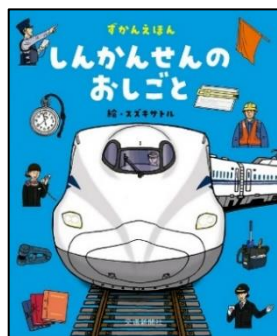
山下 明生／文
くすはら 順子／絵
ひさかたチャイルド



みなさんは、うみにいったことがありますか？ まっさおなそらと、まぶしいおひさま。すいへいせんのもうこうには、おっきなにゆうどうぐも。ウサギみたいにはねるしろいなみが、あしをくすぐります。うみにいったことがあるこも、まだないこも、『はじめてのうみ』でワクワクしてみませんか？

しんかんせんのおしごと

スズキ サトル／絵
graphique／デザイン
こどものほん編集部／構成
交通新聞社



しんかんせんのうんてんし、しんかんせんをけんさする^{ひと}たち、えきではたらく^{ひと}人たちのしごとをやさしくしょうかいします。はやくてあんぜんなうんこうをささえるくふうやどりよく、ふだんは見る^みことのできないうらがわまでのしくまなべます。でんしゃが^{だい}大すきになる^{ほん}本です。

へんしんみず！

川村 康文／構成・文
小林 尚美／構成・文
遠藤 宏／写真
岩崎書店



すいどうのじゃぐちをひねるとでてくる『みず』。みずをれいとうこにいれてこおらせると『こおり』。こおりをおなべにいれてひにかけるとみずになって、だんだんあわがぼこぼこしてきた。

あれ？みずがちょっとしかなくなっちゃった。みずはどこにきえたのでしょうか。みずがへんかするようすをしゃしんでみてみよう。

2026年



とんだばやししりつとしょかんから

1 ねんせい・2 年生のみなさんへ

なつのおてがみ



たのしいなつやすみ

としょかん

あそびにきませんか？

あなたのおきにいりの本を

みつけてくださいね



よ読みつかれてきた名作

たこなんかじゃないよ

秋野 和子／文
秋野 亥左牟／絵
福音館書店
1995年



みなみのうみで、たこがひるねをしています。たこはゆっくりめをさまし、さんぽにでかけます。うつくしいさんごとおりすぎ、さかなをたべます。おおうつぽにすみをはきだし、すなにかくれます。さんぽがおわるとすあなをめざしすーいすい。

みわ
見分けてみよう！

おいしいやさいど〜れだ？

はる なつ
春・夏

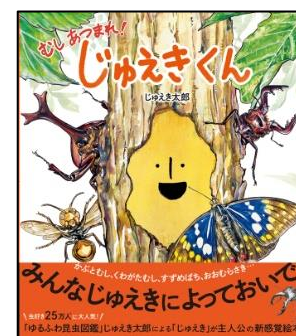
網野 文絵／文・写真
汐文社



みんながよくたべているやさい。おいしいやさいが、どんなすがたをしているのかがわかります。キュウリでいえば、とげがあつてかたいものおいしいものです。トマトはいろがきれいなだけでなく、おしりにほしのマークがあるものおいしいものです。みのまわりでやさいをみかけたときは、おいしいものをさがしてみよう。

むしあつまれ！じゅえきくん

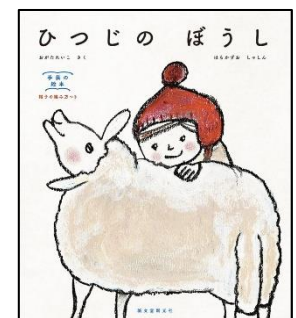
じゅえき太郎／作・絵
須田 研司（むさしの自然誌研究会）／監修
minna／デザイン
Gakken



ぞうきばやしにじゅえきがでているきが いっぱんありました。つかれたすずめばちをげんきにするためにじゅえきをあたえたり、ひとりぼっちのおおむらさきに、あまいかおりでおともだちをよびよせたりします。くわがたとかぶとむしをなかなかおりさせたりします。きのまわりは、まいにちおおくのむしでにぎわっています。

ひつじの ぼうし

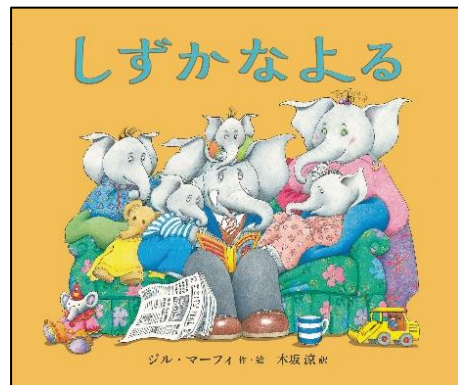
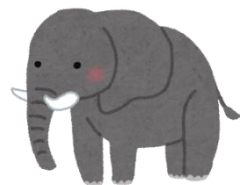
おがた れいこ／さく
はら かずお／しゃしん
誠文堂新光社



けいと^しのぼうしはひつじからできています。どうやってひつじからぼうしになるのか知っていますか？この本は、ひつじのふわふわの毛^けがあたたかいぼうしになるまでのおはなしです。ふわふわになるまでのばした毛^けをきって、糸^{いと}にして、色^{いろ}をつけてあんでいきます。ぼうしができるまでのようすをやさしくおしえてくれます。

しずかなよる

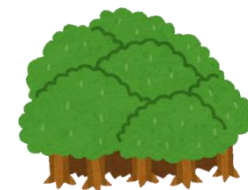
ジル・マーフィ／作・絵
木坂 涼／訳
ひさかたチャイルド



きょうはぞうパパのたんじょうび。ぞうママはしずかなよるをプレゼントしようとかどもたちにいいます。4にんのこどもたちは、しずかにおやすみするからとパパにえほんをよんでもらいます。でもこどもたちはちっともしずかにできません。やがてパパのこえがきこえなくなり……にぎやかでしずかなたんじょうびのよるのおはなしです。

ぼくらとモリボウのひみつの時間

実島 なほ子／作
武田 美穂／絵
ポプラ社



二年生のユウタとルイとハジメはたいいくかんのうらで、きみどりいろのボールのような生きものを見つけました。三人はそのふしぎな生きものをモリボウとなづけ、こっそりそだてることにしました。モリボウはどんどん大きくなっていき、ある日、校長先生に見つかってしまいます。三人とモリボウはいったいどうなるのでしょうか。



ななちゃんは、みんなのねこ

今西 乃子／作
ひろみちいと／画
岩崎書店



ななちゃんは公園でくらしていた「みんなのねこ」でした。ある日、おじさんがとおりかかり、ななちゃんをお家に連れ帰ってくれました。やせていてしんぱいなので病院でみてもらおうと、15さいくらいのおばあさんねこだとわかりました。やっと、あんしんしてくらせるお家が見つかったななちゃんを、おじさんはせいっぱいお世話します。

テーブルのしたになにがいる？

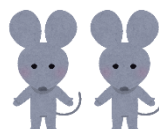
アラン・アールバーグ／文
ブルース・イングマン／絵
とたに ようこ／訳
徳間書店



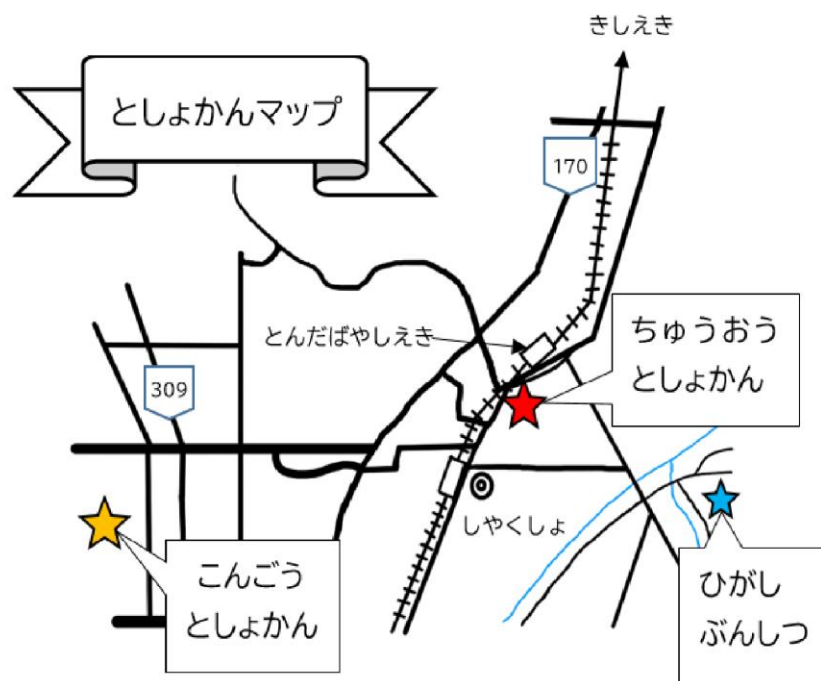
はじめにテーブルのしたにいたのはゾウで、いっしょにくるまをあらいました。そのあと、テーブルのしたにも、れいぞうこのなかにもほかのどうぶつがいました。テーブルのうえも、ゆでたまごがはしりだし、ナイフやフォークはにげだしてとてもにぎやかです。みんなでつぎのひは、うみでおとまりなんてわくわくしますね。

ウインのまほう

いまむら あしこ／作
こやま もえ／絵
あかね書房



のはらにすむかやばあちゃんといっしょにくらすカヤネズミのウインは、あるひ、かやばあちゃんがはりしごとをせず、ためいきばかりついていることにきがつきます。ウインはしんぱいで、なにもいえずないと、ミツバチおばさんにあるじゅもんをささやかれ、ウインにしかできないまほうで、かやばあちゃんをえがおにすることができました。



季節まるごと！ 理科のこども歳時記 夏のずかん

303BOOKS／編
ほるぷ出版



夏になりました。空にはどんなくもがうかんでいますか。どんな花がさいていますか。この本には、夏に見つけられる花、食べごろの野菜、かんさつできる虫や星などがたっぷりの絵と写真つきでのっています。かんさつをするときに気を付けることも書かれています。この本をよんで、みのまわりの夏をさがしてみましょう。

